

Paulo Brazil.

14) 小林 譲, 浅野 哲, 菅野延彦: ラット腹水型肝癌細胞核の高度反復配列 DNA と蛋白質. 第59回日本生化学会大会, 1986, 9, 大阪.

15) 日比野康英, 菅野延彦: ラット肝ヌクレオソームに結合して存在する Mg^{2+} -依存性エンドヌクレアーゼの諸性質. 第59回日本生化学会大会, 1986, 9, 大阪.

16) 菅野延彦, 益見厚子, 渡辺 渡, 前田浩明: シイタケ菌糸体培養基より得られる多糖蛋白質画分子 LAMP1 の抗癌性とマイトゲン活性. 第45回日本癌学会総会, 1986, 10, 札幌.

17) Suzuki, Y., Masuyama, K., Tazawa, K., Yamashita, I., Sawataishi, M., Kasagi, T., Yoshida, M., Nagase, T., Shinbo, T., Karaki, Y., Ochiai, H., Sugano, N. and Fujimaki, M.: Anticarcinogenic action of water-soluble fraction (LEM) from *Lentinus edodes* mycelia; IV. 第45回日本癌学会総会, 1986, 10, 札幌.

◆ その他

1) 本田 昂: チェルノブイリ原子力発電所事故による北陸地方の環境放射能調査結果について. 日本原子力産業会議第25回北陸部会, 1986, 6, 金沢.

英 語

教授 常 木 清
講師 野 中 慶 子
外国人教師 ジリアン S. ケイ

◆ 原 著

1) 常木清: 「何のために英語を学ぶのか」. 福井大学教育学部附属教育実践研究指導センター「紀要」第10: 133—135, 1986.

2) 野中慶子: Humanistic Approach to Foreign Language Teaching. 言語の世界, 4 巻 1 号: 85—102, 1986.

3) 野中慶子: Innovative Teacher Training Through Generating Alternatives-Toward the Communication-based Language Classroom. 東海大学外国語教育センター所報: 第 6 輯: 160—167, 1986.

4) Gillian S Kay: The English in Japanese. *English Today* No. 6: 25—26, 1986.

◆ 学会報告

1) 野中慶子: Interpretation of Communication Strategies in Oral Production. 大学英語教育

学会第25回 (1986年) 記念大会, 1986, 9, 東京.

保 健 体 育

教授 金子基之
助教授 小野寺孝一

◆ 原 著

1) 小野寺孝一, 金子基之, 山地啓司, 玉木興正, 梅沢弘樹, 並木孝: 降雪期が児童: 生徒の形態および体力・運動能力に与える影響. 体育の科学37: 55—58, 1987.

2) 小野寺孝一, 山地啓司, 北村潔和, 金子基之: 最大作業における心拍数の大・小が心拍オーバーシュート現象発生率に及ぼす影響. 富山医薬科大学一般教育研究紀要 8: 1—8, 1986.

3) 山地啓司, 小野寺孝一, 北村潔和, 福田明夫: 心拍数のカウント法の相違にみられる 1 分間の心拍数 (拍/分) の比較. 富山大学教育学部附属教育実践研究指導センター紀要 2, 39—42, 1986.

◆ 学会報告

1) 小野寺孝一, 金子基之, 山地啓司: 超音波による運動時大脳動脈血流量の測定について, 第37回日本体育学会, 1986, 11 P, 筑波.